

けみかわの宮

第115号

平成30年7月1日発行

下総之國 検見川神社々務所
神祇三社

〒262-0023

千葉県花見川区検見川町1-1

TEL 043 (273) 0001(代)

FAX 043 (273) 0002



金管パレード



例祭参進



最後のもみあげ



若葉自治会山車巡行

例祭・ほおづき市のご案内

八月一日(水)～三日(金)

毎年恒例、検見川神社例祭が今年も八月一日～三日の三日間に亘り盛大に執り行われます。

例祭は主祭神スサノヲノミコトをおまつりする祭典で、当神社の数ある年中行事の中でも最大かつ最も重要な神事です。この三日間は「検見川の夏祭り」として古くから地元の人々に親しまれており、例年たいへん多くの参拝者で賑わいます。

七月三十一日の前日祭から三日夜の還幸祭までいろいろな祭典と行事が例年通りの日程で行われます。

八月一日十時に大祭式に則った祭典が斎行され、夕刻、神様を乗せた神輿が町内に向け出発し、神輿渡御がはじまります。

若い男性たちに担がれた神輿のもみあげは勇壮そのもので、町内は一気にお祭りムードに変わります。神輿は三日午前まで仮殿に入御しますが、町内には数多くの出店が所狭しと立ち並び、夜遅くまで大勢の人達で賑わいます。

ほおづき市

例祭期間中、境内ではほおづき市が開催されます。ほおづき市も今年で八回目を迎え、検見川神社の夏

まつりの風物詩として定着してきました。大前にたくさんのほおづきが並べられ、境内は赤い提灯で飾られます。東参道には露店が出店し、昔ながらの情緒を漂わせます。

皆様ぜひ例祭・ほおづき市にお越し下さい。



平成三十年 例祭 日程

— 七月三十一日(火) —	
例祭前日祭	……9:00
— 八月一日(水) —	
例 祭	……10:00
遷霊祭	……17:10
発輿祭	……17:40
発 輿	……18:00
仮殿祭	……22:00
— 八月二日(木) —	
仮殿朝御饗祭	…7:00
若葉会子供神輿山車巡行	
安全祈願祭	……8:30
子供神輿、山車巡行	……9:00
仮殿夕御饗祭	…20:00
— 八月三日(金) —	
仮殿発輿祭	……14:30
仮殿発輿	……14:45
御旅所着御	……15:45
御旅所祭	……16:00
御旅所発輿	……16:15
年番町会渡御及び発輿	18:30~20:30
還 幸	……21:00
還幸祭	……21:30

神社での例祭

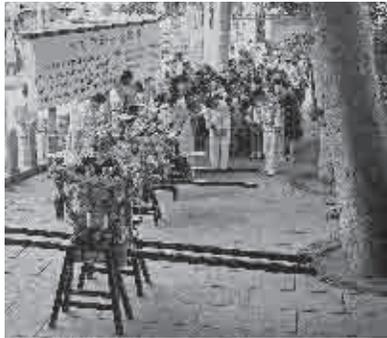
例祭は神社にとって最重要の祭典であり、通常の祭典とは異なる「大祭式」により執り行われます。大祭式では普段閉じたままになっている御本殿の御扉が開かれ、神饌（神様へのお供えもの）が献じられます。宮司による祝詞奏上では、一年に一度のおまつりができることへの祝言と、皇室の長久と弥栄、氏子崇敬者をはじめ国民の平安と幸福の永続がお祈りされます。

また千葉県神社庁より献幣使が遣わされ、神社本庁からの本庁幣が御神前に供進され、献幣使により祭詞が奏上されます。

神輿渡御

一日目

午前十時に神社拝殿にて例祭が斎行されたあと、同日夕刻から三日の夜まで神輿渡御が行われます。午後五時より遷霊祭が



子供神輿発輿祭

二日目

神輿は仮殿に着御したまま終日神職はじめ神社職員によりお守りされます。二日目は子供神輿、山車の巡行、検見川神社神楽囃子連による神楽お囃子の奉

斎行され、御霊が神輿に遷され、引き続き発輿祭が執り行われます。ここで神事の厳肅な雰囲気から祭礼の華やいだ雰囲気へと空気が一変します。神輿は表参道の急な階段を下りたあとと鳥居の外で「さしてもめ」の掛け声にあわせて大きくもみあげられます。その後神輿は氏子地域を巡幸し、夜遅くに仮殿に着御します。

三日目



仮殿発輿祭

午後三時仮殿発輿祭が斎行され、神輿が御旅所にむけて出発します。御旅所到着後、御旅所祭を斎行したのち、神輿は町内を巡幸し、午後九時神社に戻ってきます。このとき大前にて最後の神輿のみみあげが行われ、三日間に亘ったおまつりのクライマックスを迎えます。



東参道夜店風景

納などが行われます。また数多くの出店が開かれるなど街中が賑わいます。

五月二十六日(土)

植樹祭齋行



☆今年の記念樹 柏(カシワ)

当神社の植樹祭では毎年多くの献木奉賛者の皆様から賜りました奉賛金をもとに、神社に相応しい樹木を記念樹として植栽することになっています。

これまで記念樹として、十月桜、常盤満作・柊などさまざまな樹木が植栽されています。

今年も記念樹として柏(カシワ)が選ばれました。柏はブナ科の落葉樹で、日本、朝鮮半島、台湾、中国に分布し成長すると高さは二十メートルほどになり、葉のふちが波のような形になるのが特徴です。

柏は落葉樹ですが、秋に葉が枯れても翌年の春新芽が芽吹くまで葉が落ちないことから、「代が途切れない」子孫繁栄の縁起物とされています。

また五月五日の端午の節句に柏の葉で餅を包んだ「柏餅」を食べる風習がよく知られています。

昔、食べ物を盛る食器として植物の葉がよく用いられていました。それを「炊葉」(かしきは)

と呼んでいました。なかでも柏の葉がよく使われていたことから、「かしきは」の名がそのまま使われ、「かしわ」となり柏が食べ物を盛る器の代名詞となりました。柏餅が柏の葉で包まれているのはその名残りといえるでしょう。

現在でも宮中の神事において、柏の葉が神様に捧げる食器として用いられているとのことです。柏は木々の葉を守る「葉守りの神」が宿る木とされ、また神様に対して手を叩いて敬意を表すことを「柏手を打つ」といいますが、この言葉も柏の神聖さに由来するという説もあり、柏は神様と縁のある樹木といえます。



七月は「棚機」

七月七日は天の川を隔てて牽牛と織姫の二星が年に一度会うことが許される日です。一般には中国伝来の行事とされていますが、これも日本古来の習俗と混交したものです。

七月になると遠くから水の神がやってこられる、その神を迎えるため乙女が川や海に張り出した棚の上で機を織という棚織姫の信仰がもとになっていきます。七夕ではなく棚機なのである。

この織姫にちなんで女の子の裁縫の上達を願ったものがいつの間か習字の上達や学習全般の向上、その他いろいろな願い事を短冊に書いて祈るようになっていきました。



七夕は棚機から来ている

七月・八月祭典行事

七月

十六日 海上安全祈願祭
二十五日 兼務社愛宕神社例祭
三十一日 例祭前日祭

八月

一日 例祭
一日～三日 神輿渡御

「御大礼」について

— 天皇即位に関わる諸儀式

政府は四月三日の閣議で平成三十一年の天皇陛下の譲位と皇太子さまの即位に伴う式典のあり方を定めた基本方針を決定しました。「御大礼」とは、天皇の即位に関わる一連の儀式の総称です。即位した新天皇は、即位礼、大嘗祭など数多くの儀式に臨まれます。

四月三十日 「即位礼正殿の儀」

天皇陛下の御譲位を広く国民に明らかにする儀式

五月一日

「剣璽等承継の儀」

新天皇即位に伴い三種神器を受け継ぐ儀式

「即位後朝見の儀」

御即位後をはじめて国民の代表に会われる儀式

十月二十二日 即位礼

三種の神器を受け継ぎ皇位に即かれた新天皇が、その即位を公式に国内外に宣言し、明らかにします。国民の代表や海外の賓客らが寿ぐなか、天皇がその御座である「高御座」(たかみくら)に登られる儀式です。

十一月 大嘗祭

大嘗祭は天皇即位後をはじめて行う新嘗祭のことで、一代一度の最大の祭祀です。東西から全国の代表となる「悠紀田」「主基田」が選定され、そこで穫れた新穀がお供えされます。即位に伴う数多くの儀式の中でも新天皇自身が斎行する全国規模の秋祭りである大嘗祭は、とくに重要なものとされてきました。

「参考」 「御大禮之儀式」

(神社本庁) ほか



宮中三殿

皇室のおまつり — 宮中祭祀について

今上天皇をはじめ歴代の天皇は日本のみならず全世界の平和を常にご先祖の神々に祈られてきました。神をまつり、祈りを捧げることこそが皇室のもっとも重要なお務めとされています。では、皇室ではどのような祭祀が行われているのでしょうか。

宮中三殿

皇居の森の奥、敷地のほぼ中央に土塀に囲まれた聖域があり、そこに宮中祭祀に関する三つの建物があります。

賢所—皇室のご祖先の神様である天照大御神の御霊代である御神境をおまつりする

皇霊殿—歴代の天皇・皇后・皇族の御霊をおまつりする

神殿—天神地祇八百万神をおまつりする

この御三殿を総称して「宮中三殿」といいます。また、これに附属して、神楽舎、綾綺殿、神嘉殿などがあります。

宮中祭祀

宮中三殿では年間二十回ほどの大・小の祭典があり、また十日ごとの旬祭、毎年の御日供、侍従の御代拝などが行なわれています。

す。大祭は天皇皇后、また皇太子同妃の御拝礼があり、天皇御自から御告文(祝詞)を奏します。小祭は天皇と皇太子のみ御拝礼となります。宮中祭祀はおまつりの趣旨から左記のように分けられます。

①正月・季節のおまつり

歳旦祭(一月一日)、元始祭(一月三日)、旬祭など

②米作りに関するおまつり

祈年祭(二月十七日)、神嘗祭(十月十七日)

③歴代天皇の御霊のおまつり

春季皇霊祭(三月春分の日) 秋季皇霊祭(九月秋分の日) 昭和天皇祭(一月七日) など

④その他神代につながるおまつり

賢所御神楽(十二月中旬) など

⑤天皇即位に関するおまつり

大嘗祭
このように年間を通じ数多くのおまつりに御奉仕されていることは、天皇陛下はじめ皇室の方々がいかに宮中祭祀を重要視されているか、その証であるといえるでしょう。



七月・八月の運勢

〔注意〕

各人の満年齢は、左記の数え年から、各人本人の誕生日日前には二歳、誕生日以後には一歳を差し引けば得られる。アラビア数字は、ことしの誕生日以後の満年齢である。子・辰・申の年は閏年となる。

九星

七月の運勢

八月の運勢

五黄土星	六白金星	七赤金星	八白土星
数え 96歳 1923年 大正12年生	数え 97歳 1922年 大正11年生	数え 98歳 1921年 大正10年生	数え 99歳 1920年 大正9年生
数え 87歳 1932年 昭和7年生	数え 88歳 1931年 昭和6年生	数え 89歳 1930年 昭和5年生	数え 90歳 1929年 昭和4年生
数え 78歳 1941年 昭和16年生	数え 79歳 1940年 昭和15年生	数え 80歳 1939年 昭和14年生	数え 81歳 1938年 昭和13年生
数え 69歳 1950年 昭和25年生	数え 70歳 1949年 昭和24年生	数え 71歳 1948年 昭和23年生	数え 72歳 1947年 昭和22年生
数え 60歳 1959年 昭和34年生	数え 61歳 1958年 昭和33年生	数え 62歳 1957年 昭和32年生	数え 63歳 1956年 昭和31年生
数え 51歳 1968年 昭和43年生	数え 52歳 1967年 昭和42年生	数え 53歳 1966年 昭和41年生	数え 54歳 1965年 昭和40年生
数え 42歳 1977年 昭和52年生	数え 43歳 1976年 昭和51年生	数え 44歳 1975年 昭和50年生	数え 45歳 1974年 昭和49年生
数え 33歳 1986年 昭和61年生	数え 34歳 1985年 昭和60年生	数え 35歳 1984年 昭和59年生	数え 36歳 1983年 昭和58年生
数え 24歳 1995年 平成7年生	数え 25歳 1994年 平成6年生	数え 26歳 1993年 平成5年生	数え 27歳 1992年 平成4年生
数え 15歳 2004年 平成16年生	数え 16歳 2003年 平成15年生	数え 17歳 2002年 平成14年生	数え 18歳 2001年 平成13年生
数え 6歳 2013年 平成25年生	数え 7歳 2012年 平成24年生	数え 8歳 2011年 平成23年生	数え 9歳 2010年 平成22年生

何をやってもうまくいかずやる気を失いやすくりますが、何事も諦めず、踏ん張って下さい。難問は自分を大きくしてくれる試練と思つて一つ一つ丁寧に解決するように励んで。

上昇傾向にあるとはいえ、まだまだ物事の流れがスムーズに運ばないので、前後左右を良く確かめながら歩んで。何も考えずに、次々と動き回ると、問題山積みになり後日に響く。

確かな行動が功を奏し、順調に運びます。動きはあまりよくなくとも、確実に伸びていく時なので、何事も諦めず、ねばり強く乗り切つて下さい。猛進・突進は凶意増す。漸進が吉。

動けば動くほど良い結果につながるため、つかつかれそうですが慎重に。今一番大切な事は気を引き締めて油断しない事なので、此の点をよく考えて歩んで。軽率な行動は逆運を招く。

運氣好調となり良い環境に恵まれますが油断せず、前後左右確かめながら歩んで。万事過信禁物で、用心の上にも用心を重ねて慎重に。常に初心の時の素直な気持ちを忘れずに。

順調を絵に描いたような月で、天運我に味方してくれそうです。事業等も商談成立して、上昇気流に乗りますが、うかれなないように。好調な時こそ、気を引き締めて丁寧な歩みを。

慶び事が重なりそうです。更にあてにしないことでも進んでしまうため、ついでに気が弛みが生じやすいため注意を。大体思い通りにいきますが、求め過ぎず二分の余裕を残す事。

雑事ばかり多く本業が疎かになりやすいから十分に気をつけて。あれもこれもと欲を出して、手を抜けないこと。何事もよく考え、取捨選択をしつかりとして、よりよい物を選んで。

〔己未九紫火星気性中宮の月〕
七月五日より八月五日迄

〔庚申八白土星気性中宮の月〕
八月六日より九月五日迄

九 紫 火 星	一 白 水 星	二 黒 土 星	三 碧 木 星	四 緑 木 星
数え 91歳 1928年 昭和3年生	数え 92歳 1927年 昭和2年生	数え 93歳 1926年 昭和元年生	数え 94歳 1925年 大正14年生	数え 95歳 1924年 大正13年生
数え 82歳 1937年 昭和12年生	数え 83歳 1936年 昭和11年生	数え 84歳 1935年 昭和10年生	数え 85歳 1934年 昭和9年生	数え 86歳 1933年 昭和8年生
数え 73歳 1946年 昭和21年生	数え 74歳 1945年 昭和20年生	数え 75歳 1944年 昭和19年生	数え 76歳 1943年 昭和18年生	数え 77歳 1942年 昭和17年生
数え 64歳 1955年 昭和30年生	数え 65歳 1954年 昭和29年生	数え 66歳 1953年 昭和28年生	数え 67歳 1952年 昭和27年生	数え 68歳 1951年 昭和26年生
数え 55歳 1964年 昭和39年生	数え 56歳 1963年 昭和38年生	数え 57歳 1962年 昭和37年生	数え 58歳 1961年 昭和36年生	数え 59歳 1960年 昭和35年生
数え 46歳 1973年 昭和48年生	数え 47歳 1972年 昭和47年生	数え 48歳 1971年 昭和46年生	数え 49歳 1970年 昭和45年生	数え 50歳 1969年 昭和44年生
数え 37歳 1982年 昭和57年生	数え 38歳 1981年 昭和56年生	数え 39歳 1980年 昭和55年生	数え 40歳 1979年 昭和54年生	数え 41歳 1978年 昭和53年生
数え 28歳 1991年 平成3年生	数え 29歳 1990年 平成2年生	数え 30歳 1989年 平成元年生	数え 31歳 1988年 昭和63年生	数え 32歳 1987年 昭和62年生
数え 19歳 2000年 平成12年生	数え 20歳 1999年 平成11年生	数え 21歳 1998年 平成10年生	数え 22歳 1997年 平成9年生	数え 23歳 1996年 平成8年生
数え 10歳 2009年 平成21年生	数え 11歳 2008年 平成20年生	数え 12歳 2007年 平成19年生	数え 13歳 2006年 平成18年生	数え 14歳 2005年 平成17年生
数え 1歳 2018年 平成30年生	数え 2歳 2017年 平成29年生	数え 3歳 2016年 平成28年生	数え 4歳 2015年 平成27年生	数え 5歳 2014年 平成26年生
<p>活動的で何かと忙しく慌ただしさはありますが、流れは良いので、大いに精進を重ねて乗り切ってください。色々条件の良いあまい話が舞い込んできますが、話には乗らないこと。</p>	<p>運氣充実して意欲旺盛となり、積極的に行動したくなりそうです。ただし、一歩間違えると、独断専行する恐れがあるので、周りとの調和もよく考えて。謙虚な気持ちを忘れずに。</p>	<p>増々運氣上昇し、実り・収穫の期待できる月となりそうですが、気をよくしてうかれて調子に乗らないように。好調の時こそ気を引き締めて。喜び過ぎると、足元をすくわれやすい。</p>	<p>仕事・家庭上で問題が発生しやすく、悩むことが多くなりそうですが、結論を急がず、手問ひまかけて親切・丁寧な解決を。転業・転職等の話が舞い込んでも、焦らず慎重な判断を。</p>	<p>行ったり来たりと、繰り返すことが多くなりそうな月です。事業等も中々思うように進まず、かなりイライラしますが、どっしり構えて。感情的になると見えるものも見えなくなる。</p>
<p>底力のある運氣なので、上手に用いて下さい。土台作り、基礎作りに適しているから、大いに足元の強化に努めて。ただし結果はすぐに出ないので、何事もどっしり構えて忍耐強く。</p>	<p>周囲の人から認められて注目を浴びますが、あまり浮かれすぎないように。調子に乗って進み過ぎるとケガをする。特に話し言葉は慎重にという暗示あり。口と財布は締めるが得。</p>	<p>迷うことが多くなりますが、何事も焦らず良く考えて行動するように努めて。軽々しく動くミス・損失につながるから注意を。迷った時は独断せず周りの人に相談することが良策。</p>	<p>まさしく真夏の太陽の如く、明るく気持ちのよい月になりそうです。今まで片づかなかった問題も徐々にはつきりしてきて、良い方向に動くでしょう。但し勢い付いて進まない様に。</p>	<p>あまり良い運氣ではないので、よく考えて行動して下さい。今は自分を試してくれる試練と思って、精進に精進を重ねて乗り切つて。目先の欲にまどわされて、動くとかガをする。</p>



参進の儀

結婚式は、新郎・新婦が新たな家庭を築き、新しい生活への第一歩を踏み出す、重要な人生儀礼の一つです。神社で執り行われる「神前結婚式」は伝統に則った厳粛な祭典です。
当社社の神前結婚式は次のような式次第により執り行われます。

神前結婚式ののご案内



御神楽奉奏

- 一、参進
 - 二、修祓の儀
 - 三、斎主祝詞奏上
 - 四、神前神楽「鶏鳴楽」奉奏
 - 五、三献の儀
 - 六、指輪交換の儀
 - 七、誓詞奏上
 - 八、玉串拝礼
 - 九、親族固めの盃の儀
- 当社社では神前結婚式のお申し込みを随時承っております。ご希望の方は、左記連絡先までお問合せ下さい。

結婚式窓口

〇四三(二七三)〇一〇一
担当 森本

授与品紹介



八方除絵馬 初穂料 500円

八方除総鎮守である当社社御社殿が描かれた検見川神社オリジナルの絵馬です



仕事守 初穂料 800円

いま取り組んでいる仕事で結果を出したい方、これから仕事に就くべく、勤め先を探している方など仕事にかかわるすべての方々に大明神の御加護がありますよう祈りを込めた御守です



交通安全御守(小) 初穂料 800円

お財布やお子様のかばんなどに入れられる、小さいサイズの交通安全の御守です